



—東地中海地域ニュース—

トルコ：アル・カーイダ関係者の拘束 (1月19～20日付現地紙取り纏め)

1. 1月18日、トルコ警察はトルコ南部のアダナ市内で25か所を一斉捜査し、武器、弾薬及びコンピューターを押収すると共に、20人を拘束した。拘束された容疑者の数名は、アフガニスタン国内のアル・カーイダ・キャンプで訓練を受けたと供述している。更に、容疑者たちは、アル・カーイダを支援するために資金調達を行い、新たなアル・カーイダのメンバーを募集しようとしていたと見られている。
2. 19日、トルコ警察はアンカラ市内で5か所を一斉捜査し、カラシニコフ銃1丁、弾倉6個、爆発物製造装置、偽造IDカード及び偽造パスポートを押収すると共に、13人を拘束した。更に、アフガニスタンに送付予定だった迷彩服及び医療品も発見された。又、アンカラでは18日にもアル・カーイダ関係者11人が拘束されている。
3. アンカラ市内の捜査では、トルコ国内のアル・カーイダ組織のリーダーであるエルバシャが拘束された。同人はトルコでアル・カーイダ・メンバーを募るとともに、チェチェン人による対ロシア戦闘行為を支援するための資金調達を行っていたと見られる。エルバシャは、チェチェン人組織とアル・カーイダとの間で同資金をめぐる争いが生じた際に、トルコを出国していたが、その後帰国していた。